

シリーズ

子どもの居場所



第16回 休日は、家族そろって

「ピクニック気分」であの公園へいこうっ

尼崎市内には、大小たくさんの公園があります。その中でも、遠足に行くような気分で大人も子供も一緒に楽しめる公園を、いくつかご紹介します。

①魚つり公園

尼崎市平左衛門町66
利用料: 有料
駐車場: 有 (有料)
定休日: 火曜 (祝日の場合は水曜)
家族連れも多く、意外と小さい子どももいました。お父さんの趣味にたまには付き合い家族でお出かけするのもいいかもしれません。



②スポーツの森 アマラーゴ 森のこども広場

尼崎市扇町43
利用料: 有料
駐車場: 有 (無料)

アマラーゴ (プール) は7月7日からOPEN。市内で本格的なプールで遊べ、子供だけでなく、親も楽しめます。森のこども広場は低料金で遊べます。子どもの遊んでる姿が見える場所に、大人が遊べるスペースがあります。子育て支援プログラムもあります。駐車場が無料なのも嬉しいですね。



↑アマラーゴ

↑森のこども広場

③元浜緑地

尼崎市元浜町1丁目
利用料: 無料
駐車場: 有 (有料)

とても広い公園で道路を挟んで西側にも公園があります。西側はわんぱく池があり、6月1日から水遊びができます。東側の公園には市内では珍しいロングスライダーがあります。大型木造遊具もあり、兄弟で行っても楽しめます。



元浜緑地から南に約300m行っところ北廻運河があり、その一帯は遊歩道として整備されています。春は桜並木があって離れた花見スポットです。また、秋には「うんばく」という大きなイベントも開催されます。そのほかに、尼崎運河クルーズも不定期で開催されます。

④上坂部西公園

尼崎市東塚口町2丁目1及び2
利用料: 無料
駐車スペース: 7台

都市緑化植物園として位置づけられ、校外学習などでも利用されています。芝生広場があり、お弁当を広げるにはピッタリです。様々な緑で囲まれ、水場で遊ぶ子どももいて、幼児用遊具もわずかですがあります。屋根付きのベンチがあるので、暑いときでも楽しめるかと、街の中にこんな憩える緑豊かな場所があるとは、最近まで知りませんでした。また、園内に「緑の相談所」があり、花や緑の講習会や展示会が行われています。(相談所は休館日有り 火・水・祭祭・年末年始)



⑤猪名川公園

尼崎市推堂1丁目502
(豊中市にまたがる公園です)
利用料: 無料
(野球場・テニスコートは有料)
駐車場: 15台

尼崎市と大阪府豊中市の境界をはさんで広がる大きな公園で、周辺に貴重な自然林が残っており、緑がたくさん繁っています。砂場やアスレチックなどで、自然の中で体を動かすことができ、また、テニスコートや野球場(有料・要予約)もあります。



冒険ひろは「そのっ子らんど」(猪名川公園広場)



開催: 毎週日曜日(雨天中止)
時間: 午前10時～午後2時
主催: そのっ子らんど実行委員会・豊和北友会
(問い合わせ先) Tel. 06-6491-9110 栗田光啓

猪名川公園は、尼崎市内で最も自然が豊かな場所です。その特色を生かして、子どもが自由な遊びができるようなしなげを考えています。滑車滑り、木から木へとロープの渡り橋、タイヤブランコ等等。秋にはたくさんのどんぐりが実りそれらを使った創作。また、いろんな波り鳥もやってきます。体を動かすこと、集団で遊ぶこと、伝統遊び、新しい遊びの提案などしています。

⑥田能遺跡

(国指定史跡 昭和44年6月30日指定)

尼崎市田能6丁目5-1
利用料: 無料
駐車場: 有 (無料)

弥生時代の全期間にわたる集落跡です。住居のほかそれまで不明であった近畿地方弥生時代の墓制を明らかにした木棺墓、土槨墓、壘・壘相墓などの墓が発見されました。木棺墓の中には碧玉製管玉の首飾りや白銅製の腕輪を身につけた特別な扱いをうけていたと思われる人物の墓がありました。発掘された遺構は地下に保存された後、全面に土盛りし植栽を施し、屋外には住居や高床倉庫などを復元し、出土した資料は資料館で公開しています。また弥生時代の暮らしを体験する各種の体験学習会も開催されています。

